

会 議 録

1 会議名

令和 8 年度 第 3 回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・地域コミュニティの維持について

3 開催日時

令和 8 年 6 月 11 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 50 分まで

4 開催場所

高士地区公民館 中会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：上野副会長、塩尻委員、高橋会長、田中委員、塚田(幸)委員

塚田(誠)委員、馬場委員、日向副会長、山口委員、山本委員（欠席 2 名）

- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、渡邊係長、小川主事

8 発言の内容（要旨）

- ・半数以上の委員出席のため会議成立

- ・会議録の確認：田中委員

■3 議題 (1) 自主的な審議 地域コミュニティの維持について

【高橋会長】

協議の前に報告する。7 月 3 日の「ふるさと高士まつり実行委員会」で町内会長へ取組の説明を行うため、6 月 4 日に事務局とともに町内会長協議会の保坂会長に面会し、事前説明と出席許可を依頼し、趣旨の理解と説明機会の了承を得た。その際、会長からは、各町内会の行事でも参加者が固定化し確保が難しいとの話と、茶話会だけでは弱いと話題を設けてはどうかとの提案があった。しかし、話題を設けると参加者の負担感が増してしまう可能性もあり、そこは我々で協議する必要がある。また、きのこ汁などの食

べ物を提供すれば、参加者が集まるのではないかというアドバイスもいただいた。本日の協議の参考にしたい。

それでは、本日の協議内容について、事務局の説明を求める。

【小川主事】

- ・資料No.1 に基づき説明

前回の地域協議会后に第 5 区担当の委員が自主的に話し合いをしたと伺った。前回の決定事項に変更や修正等がある場合は報告いただきたい。併せて、他のグループの担当委員についても決定したい。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

前回の決定事項に変更や修正等がある委員は挙手願う。

【上野副会長】

前回の地域協議会后に第 5 区担当委員で話し合った。実施内容について、ボッチャをスカットボールに変更したい。ボッチャはコート設営に時間がかかるが、スカットボールは用具を設置するだけで準備が済む。また、防災グッズの販売について、業者の参加が地域コミュニティの維持に必ずしもつながるとはいえないため、削除したい。

【塩尻委員】

第 1 区は、前回から変更はない。まだ取組内容の詳細は詰められていないが、日向副会長、馬場委員、保坂委員、私の 4 人で担当したいと考えている。

【上野副会長】

ファミリー綱引き大会も前回から変更はない。なお、大会は午前 8 時から開催される。

【小川主事】

ファミリー綱引き大会後のカレーライスの提供について、これは地域協議会が用意するのではなく、提供の場に参加するとの認識でよいか。また、どの団体が用意するのか。

【上野副会長】

そのとおり。体育協会が用意する。

【高橋会長】

各グループの担当委員を決定したい。全体の取組を担当する委員は、田中委員、山口委員、山本委員、そして私の 4 人。他の地区も含め、担当委員について意見はあるか。

(発言無し)

次に、取組内容の詳細について、事務局の説明を求める。

【小川主事】

・資料No.1 に基づき説明

太枠内を協議いただく。追加で協力を依頼する団体があれば発言いただきたい。また、7月3日の説明会に向け、町内会長への依頼事項があればそれについても整理したい。

【塚田（誠）】

第5区で、とん汁を無料配布できたら参加者が集まるのではないかな。

【塩尻委員】

第1区では、飲み物の提供方法で悩んでいる。例えば、2リットルのペットボトルを用意して紙コップで提供する方法や、町内会館でお湯を沸かしてお茶を提供する方法がある。どの方法がよいのか、皆さんからも意見をいただきたい。

【高橋会長】

それもよいが、感染症対策でペットボトルを個別配布するのはどうか。ただし、その場合は経費が増えることが想定される。事務局はどう考えるのか。

【小川主事】

経費については事務局も悩んでいる。皆さんがどう考えているか、整理したい。

【塩尻委員】

飲み物だけでなく、お菓子の費用についても検討が必要である。

【山本委員】

参加者数で必要経費も変わってくる。

【馬場委員】

参加費を徴収するかしないかを決めるのが先ではないかな。

【高橋会長】

参加費は徴収できないだろう。

【日向副会長】

今後、この取組が定着していけば将来的に参加費を徴収することも考えられるが、試行段階のため、参加費は徴収しない想定である。

【高橋会長】

参加者に飲み物を持参してもらうかな。

【塩尻委員】

持参してまで参加するだろうか。

【上野副会長】

南方町内会の防災訓練では、町内会が飲み物を用意している。それぞれの町内会で同様の対応が可能であれば、実施できるのではないかと考える。

【高橋会長】

各町内会長にお願いするか。

【馬場委員】

町内会に予備費のようなものはあるのか。

【上野副会長】

予備費を持っていると思う。

【塩尻委員】

今、町内会の会計担当で、私の町内では予備費ではなく、かかった分を後で精算する。町内会長が「いくらでも出す」と言っていたるのであれば対応は可能だが、その辺りは各町内会の考え方によるのではないか。

【上野副会長】

7月3日の説明会でお願いするしかないのではないかと。私が過去に南方町内会の会計をやっていた頃は、予備費も使うことができた。

【塚田（誠）】

それであれば、飲み物代やお菓子代は何とかなるのではないかと。

【上野副会長】

ただし、とん汁を作るとなれば、また別の経費がかかってくる。なお、ファミリー綱引き大会後のカレーライス(material fee)は全て体育協会が負担する。

【馬場委員】

できれば、輪投げやスカットボールで景品を出せるとよい。

【上野副会長】

別の事業の余剰となった景品を活用できればと考えている。

【塩尻委員】

取組3回分の景品があるということか。

【上野副会長】

参加人数にもよる。

【井守所長】

コンセプトは“ついで”。例えば、防災訓練で炊き出し訓練を行うか。

【塚田（誠）】

以前はやっていた。今年は検討中である。

【上野副会長】

昨年度は、小学校を会場に避難訓練と炊き出し訓練を実施した。今年度は、町内会保有の防災用品の組み立て等について防災委員会に提案予定である。

【小川主事】

町内会保有の非常食で、賞味期限が切れそうなものを活用することはできないか。

【上野副会長】

非常食自体がとても少なく、年々減ってきている。なお、とん汁は湯煎で調理すれば経費を抑えられると考える。

【塚田（誠）】

とん汁について、野菜を配布するので、それを活用すればよい。味噌は用意できるだろうし、費用がかかるのは肉。肉を用意できなければ、けんちん汁でもよい。

【上野副会長】

誰がとん汁を調理するのか。南方のさくらの会へ依頼するのも一つの方法かと思う。

【塚田（誠）】

第5区の担当委員で話し合った際、上野（美）委員から「とん汁程度なら作る」との話もあった。自分も手伝えるし、こうした催しをすることも一つの方法ではないか。肉の費用だけが課題である。

【上野副会長】

参加者数が多くなければ、1人か2人でも調理は可能かと思う。

【高橋会長】

町内会長へは、「このような取組を実施したいので協力いただきたい」という形で依頼する。ここでいう協力とは、主に経費面の負担を想定している。こうした点を踏まえ、全体を整理していく必要がある。私としては、それほど大きな金額にはならない見込みであるため、対応可能な範囲ではないかと考えている。

【塩尻委員】

“ついで”ではなく、我々の取組がメインになってしまわないか。

【山本委員】

そう思う。

【馬場委員】

それぞれでメインの行事があるのだから、“ついで”となるだろう。

【高橋会長】

この取組の目的は、いかに人を集めるかである。馬場委員の意見のように、それぞれの行事に沿う形で実施したい。我々の取組が単独でも盛り上がるのが望ましいが、まずは“ついで”の形で進めていきたい。

【塩尻委員】

今回盛り上がれば次の展開がしやすい。

【馬場委員】

各町内会から何人程度の参加をお願いしたいのか、依頼する人数を決定した方がよい。

【井守所長】

町内会長協議会長からは、町内会役員全員の出席を求めるよう、町内会長へ依頼してほしいとのご意見をいただいた。

【高橋会長】

各町内には様々な団体があるだろう。団体にも依頼し1人か2人ずつ参加してもらえば、一定数は確保できる。町内会長には、役員に限らず団体からの参加も含め依頼することも一つの方法ではないかと思う。

【小川主事】

団体に属さない方へのチラシの回覧や声掛けなど、周知方法も検討が必要だ。

【山本委員】

飯田町内会では回覧板はあまり回っていない。お悔み情報なども含め、町内会の情報はほぼLINEで周知されている。我が家では一人が登録し、家庭内で情報を共有している。一方で、LINEを利用していない人や、紙での周知を望む人もいるため、周知方法には工夫が必要と感じている。

【山口委員】

飯田町内会は、お願いすれば回覧板が回るくらいの頻度である。

【塚田（誠）】

南方町内会は、LINEと回覧板の両方で情報を周知している。LINEを使わない方へは回覧板で回す形にしている。

【馬場委員】

紙のチラシもよいが、費用がかかる。できればカラーのものがよい。

【山本委員】

誰がチラシを作るのか。

【小川主事】

チラシの印刷について、試行期間中は事務局で対応したいと考えている。ただし、カラーではなく、色紙に黒一色の印刷となる。

【塩尻委員】

チラシを出さないと参加者は集まらない。地区によっては、3町内会で80枚ほど必要。

【高橋会長】

回覧ではなく全戸配布するということか。

【塩尻委員】

そのとおり。ただし、回覧にすれば15枚程度で済み、経費は抑えられる。

【山本委員】

チラシのほかにLINEも周知方法に追加したい。

【馬場委員】

高士だよりに掲載してもらうのはいかがか。

【上野副会長】

一編集委員の意見だが、掲載は可能と思われる。ただし、編集委員長の高士地区振興協議会長への依頼が必要。また、地域協議会だよりへの掲載も有効ではないか。

【日向副会長】

多くの来場が見込まれる「ふるさと高士まつり」までにチラシを作成し、「いつ、どこで、何を行うのか」を周知できれば効果的だと考える。

【塚田（誠）】

チラシではなく、資料No.1の表に写真などを載せ、大判印刷をして公民館に掲示すると分かりやすいのではないか。

【小川主事】

A0サイズまでなら、事務局で印刷することは可能。

【日向副会長】

十分である。来場者の目を引くような見出しがあったら、記憶に残るだろう。

【塩尻委員】

掲示だけでなく、近くで声掛けする人がいないとそのまま見過ごされてしまわないか。

【山本委員】

かき氷の販売場所なら人が集まりやすい。周知の場としてちょうどよい。

【馬場委員】

7月3日の町内会長への説明では、町内会役員への参加呼びかけを徹底してもらいたい。

【塩尻委員】

7月3日までにどの範囲まで決めるか。もちろん、全て決定していることが理想だが、現実的には難しいのではないか。

【馬場委員】

次回の地域協議会である程度決まるのではないか。

【小川主事】

今回は、報告案件を1時間程度予定しているため、協議は短時間となる見込み。

【高橋会長】

今回は全体でなく、各グループで話し合ってはどうか。

【小川主事】

7月3日までに、町内会長への依頼事項が整理されていればよい。チラシの配布やLINEによる周知に加え、参加募集については地域協議会委員が主体となることを前提に、町内会長にどこまで協力をお願いするのかを明確にする必要がある。また、飲み物やお菓子の費用負担を依頼するのかについても整理する必要がある。

【上野副会長】

町内会役員の参加を前提とすると、担当する地域協議会委員も含めて約20人になるため、不特定多数を対象とするのは難しいと考える。7月3日までに、チラシの配布方法と参加者の範囲を整理する必要がある。また、高士まつりでは、ファミリー綱引き大会時の内容のみ周知し、第5区と第1区の出組については掲示不要ではないか。

【高橋会長】

どの程度の参加者数を想定するか。

【塚田（誠）】

町内会役員の人数は固定せず、広く募集する形がよいのではないかと。

【高橋会長】

全世代から参加してほしい。

【塚田（誠）】

町内会から飲み物の提供が可能な場合、24 本入りのペットボトルを 1 箱ずつ出してもらえれば足りるのではないかと。また、お菓子も町内会負担で用意していただけないかと。

【塩尻委員】

人数が増える可能性を考えると、2 リットルのペットボトルを用意し、紙コップで配る方が対応しやすい。子供会に呼び掛けると親も参加するため、人数の把握が難しくなる。また、開催時期が 10・11 月であることを踏まえると、飲み物の量もそれほど多くは必要ないのではないかと。

【上野副会長】

まずは目標人数を決めた方がよい。各町内会から、町内会役員を含めて 10 人として、合計 30 人程度でいかがかと。

【馬場委員】

町内会によって世帯数に差があるため、全ての町内会に一律の目標人数を設定するのは難しいのではないかと。

【上野副会長】

各地区で最大 30 人という目標でいかがかと。

【田中委員】

町内会館の収容人数に問題はないかと。

【塩尻委員】

稲谷町内会館には 40 人が入れる部屋があり、他に小さい部屋と、廊下も使用できる。当日は、まず子供と保護者が輪投げを行い、その間、他の参加者はお茶を飲んで待機する。30 分経過したら交代し、最後に得点発表を行う形を予定している。

【高橋会長】

目標人数は、とりあえず 30 人くらいでよいかと。

【馬場委員】

役員も含めて 30 人から 40 人でどうか。

（よしの声）

【高橋会長】

ある程度方向性が見えてきた段階で、町内会長も交えて話し合うべきではないか。

【塩尻委員】

お願いしなければならないこともあると思う。

【小川主事】

7月3日に、費用面の協力まで踏み込んで依頼するのか、概要説明にとどめた方がよいのか整理したい。説明時間が30分程度と限られているため、当日は方向性を示す程度とし、後日、改めて担当委員と町内会長との打合せの機会をいただく形としてはどうか。

【塚田（誠）】

後になって費用面の説明がなかったと言われたいよう、話題には触れつつ遠回しに依頼する形がよい。

【日向副会長】

費用面については一番重要なところ。難しい。

【高橋会長】

おおよその金額についても、整理しておく必要があるのではないか。

【日向副会長】

質問された際に答えられる準備はしておいた方がよい。5,000円を3町内会で負担して、それぞれ1,500円くらいか。

【高橋会長】

説明資料に目標参加人数が30人から40人程度と記載しておくのがよいのではないか。

【馬場委員】

費用については口頭で説明すればよい。

【塩尻委員】

最後に、第1区の開催日時は、次回の地域協議会では案内できるかと思う。

【井守所長】

7月3日に対応する委員を決めていただきたい。

(高橋会長、上野副会長、日向会長、塩尻委員に決定)

【高橋会長】

「取組名称」及び「実施主体名称」については次回の宿題とする。また、次回はグループで協議する。

■4 その他 (1) 次回開催日程

- ・第4回地域協議会：6月24日（水）午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室（予定）

■4 その他 (2) その他

（関係資料：参考資料）

【井守所長】

- ・参考資料に基づき、上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組のスケジュール変更について説明

（意見無し）

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。